

路傍にたたずむ石造物

市内を歩いていると、道端にたくさん石造物を見ることが出来ます。これらは民間信仰にまつわるものがほとんどで、その種類はさまざまです。庚申塔や馬頭観音、地藏尊など、富士見市は近隣と比べても数多く、目にした方も多いと思います。今回これら石造物のなかでも、少し変わったものを紹介します。

百観音

上沢の東上線沿いの高台に薬師堂があり、参道を歩いて右側奥に整然と並ぶ百体の石仏が目に残ります。西国三十三か所、坂東三十三か所、秩父三十四か所の札所の合わせて百か所の本尊である観音像が、一番から順に並んでいます。幕末から明治初めにかけて建立された百観音には、当時の人々の観音巡礼や石仏への信仰の厚さがしのべれます。



百観音



不動堂の天狗像

上沢の薬師堂から県道ふじみ野朝霞線を越えて北へ歩いて10分のところ

天狗像

ろに、修験者が信仰していた不動尊を本尊とする関口不動堂があり、このお堂の前の道を挟んだ路傍に天狗の立像があります。天狗像は元は藤久保の地にあつたものが奉納されたもので、修験の姿をし、背には翼、右手に八手の葉のうちわを持ち、にらみを利かせた表情をして立っています。

大型板碑

不動堂からさらに北東方向へ5分程歩き、道沿いに見えてくる観音堂境内には、貞治4年(1365年)の大型板碑があり、高さは123.5cmあります。板碑には死者の冥福を祈る追善供養と自身の極楽往生を念願する逆修供養のものがありますが、この板碑は逆修供養としては市内最古のもので、さらに道を北へ10分ほど歩くと左手に護国寺があり、境内には2基の大型板碑が建っています。この板碑は建長4年(1252年)に造られ、南畑新田の慈光院跡にある板碑と並び市内最古のもので、護国寺の2基については、高さ3m近くもあり市内最大のものでもあります。昭和50年・58年に市指定有形文化財になっています。



護国寺の大型板碑



問合せ／生涯学習課 ☎637

Young 21

題「小物入れ」



題「卓球・フォア打ち」



熱海 友紀さん
東中学校 3年

先生から一言!!
卓球をしている自分を、愛着を持って制作しているようすが伝わってきます。



的場 愛美さん
諏訪小学校 6年

先生から一言!!
ビーズの飾りや色塗りがきれいです。フックや棚などよく考え、丁寧な作りです。

人口と世帯数

人口…107,813人 (前月比 -51人)
男 53,930人 (前月比 -31人)
女 53,883人 (前月比 -20人)

世帯数…46,958世帯 (前月比 -12世帯)

●編集 総務部秘書広報課 ●発行 富士見市(月1回1日発行)

〒354-8511 富士見市大字鶴馬1800番地1

☎049-251-2711

市ホームページ <http://www.city.fujimi.saitama.jp>

携帯版アドレス <http://www.city.fujimi.saitama.jp/mobile>



携帯版